



学校だより

上小岩



令和8年 10月27日

NO.7

江戸川区立上小岩小学校

校長 宮本 知司

みなさんにとっては何の秋？ 副校長 岩崎 保佳

実りの秋が到来し、果物や野菜などたくさんの秋の実りがいただける季節となりました。食欲の秋到来と言った感じです。その他にも、秋といえば読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋などと言われますが、みなさんにとっては何の秋でしょうか？

まずスポーツの秋のお話から。先月16日には、6年生が江戸川区陸上競技場にて江戸川区体育大会（北部地区）に参加しました。気持ちのよい秋晴れのもと、大きな大会でも使用される広い競技場に緊張しつつも、それぞれが選んだ種目に精一杯挑みました。校庭がなく思うように練習できなかった本校の6年生ですが、多くの児童が入賞しました。朝や放課後に自主的に練習を行ったり、小岩三中の陸上部に指導をしてもらったりと工夫して取り組んだ児童もいました。自ら考え主体的に練習に取り組む6年生は、さすが“上小岩小の最高学年”です。また22日には、4年生が江戸川区スポーツランドのスケートリンクでスケート教室を楽しみました。初めてのことでスケート靴をはくことから苦戦したようですが、氷の上を気持ちよく滑ったようです。学校に帰ってきた子供たちは、「楽しかった。」「転んだけど滑れた。」「満足げな表情で話してくれました。

次に、読書の秋。読書には、知識を得るだけでなく、脳の働きや心身の健康、さらには人生の選択肢にまで影響を与える多くのメリットがあります。タブレットに偏りがちな現代ですが、かみっ子には小学生の間に様々な本に触れてもらいたいものです。先日、小岩図書館から「上小岩小学校の本が図書館に返却されています。」というお電話をいただきました。うっかり、学校の本を図書館の返却ポストに返してしまったとのことですが、学校の図書館でも区の図書館でも本を借りて本に親しんでいる様子が想像でき、なんだかうれしくなりました。本校では、今年10月5日から11月6日を『読書月間』としています。日頃から図書ボランティアさんが様々な本を読んでもくださいますが、この一か月は普段あまり読まない種類の本にも自ら親しめるようにと、図書委員会の子供たちがスタンプラリー形式の読書カードを作成してくれました。達成すると図書委員手作りの“オリジナルしおり”がもらえるそうです。



図書委員会児童が作成したしおり

また、昨日子供たちに配布した区内の図書館や書店をめぐるスタンプラリーも、本日から11月29日まで開催されています。こちらは、スタンプを集めると江戸川区PRキャラクター“エドリバー”の缶バッジや読書袋がもらえるそうです。校長も私も景品にひかれ、読書の秋を楽しもうと思っています。

最後に芸術の秋。11月26・27・28日は、「かみっ子芸術祭」です。「ひろがる！音と色のガーデン」をテーマに作品展示や舞台発表に向けて子供たちは図工の作品作りや音楽の練習に一生懸命取り組んでいます。今年も、3年生から6年生までの有志児童で芸術祭実行委員を立ち上げ、芸術祭を盛り上げるための活動を行っています。また、学年ごとの共同作品や保護者鑑賞日当日の学年交流作品制作など新たな制作活動も行います。かみっ子の創造力がどこまで広がるのかとても楽しみです。

